

メッセージアウトライン

| | |
|------|------------|
| 日付 | 2013年9月15日 |
| 単元 | 使徒の働き・2 |
| テーマ | 伝道と神の助け |
| タイトル | 牢をやぶるチカラ |
| テキスト | 使徒16:16～40 |
| 参照箇所 | 使徒16:1～15 |
| 暗唱聖句 | 使徒16:31 |

| | |
|------------|---|
| 導入 | もし何かの間違いで刑務所に入れられてしまったら、どうしますか？ |
| I | <p>パウロとシラスは、ピリピで牢屋に入れられてしまいました(16－24節)</p> <p>A. パウロとシラスは、イエスさまの救いを伝える旅行をしていました</p> <p>B. 二人はピリピの町で、女奴隷にとりついた占いの霊を追い出しました</p> <p>C. その女の主人たちは、占いでもうけることができなくなったので、怒ってパウロとシラスを役人に訴え、彼らを牢に入れました</p> |
| II | <p>パウロとシラスが賛美をしていると、大地震が起こって牢の扉が開きました(25－26節)</p> <p>A. パウロとシラスは鎖につながれて、看守が嚴重に彼らの番をしていました</p> <p>B. パウロとシラスは牢の中で、真夜中に祈りつつ神さまを賛美していました</p> <p>C. その時、神さまは大地震を起して、牢の扉を開き、囚人たちの鎖を解かれました</p> |
| III | <p>看守とその家族がイエスさまを信じて救われ、パウロたちは釈放されました(27－40節)</p> <p>A. 看守は、囚人が逃げたと思い自殺しようとしたが、パウロに止められました</p> <p>B. 看守はパウロ、「救われるためには何をしなければなりませんか」とききました</p> <p>C. パウロが看守とその家族に福音を伝えたので、全員イエスさまを信じて洗礼を受けました</p> |
| 結論 | 神さまは、パウロとシラスが牢屋の中で賛美したとき、不思議な力で助けてくださり、福音を広げる働きを進めてくださいました。 |
| 適用 | 困難があっても、神さまを信頼し、賛美するとき、神さまは必ず助けてくださいます。みんなは牢屋に入ったことはないけど、苦しいことはあるよね。どんなときも、まずイエスさまを見上げて祈り賛美しよう！私たちが熱心に福音を伝えようとするとき、神さまご自身が、その働きを不思議な力で押し進めてくださるのです。あなたがお友だちを教会に誘うとき、どんな困難がありますか？まだイエスさまを信じていないお友だちは、イエスさまを信じよう。そうすればあなたの家族も救われます。 |
| 備考 | |

